

2014年9月30日

報道関係者 各位

ソニー損害保険株式会社

～2014年 全国カーライフ実態調査～

**【運転実態と車の維持費】**

年間走行距離 7,000km 以下の人が 6 割弱  
4人に1人が「週末ドライバー（運転頻度は週に1～2回以下）」

車の維持費 最も負担に感じるのは「ガソリン代・燃料代」  
過去4年で 20.1 ポイント上昇

**【現在のマイカー】**

軽自動車の人気続く「マイカーは軽自動車」4割、過去4年で 11.7 ポイント上昇

**【マイカーの買替え意向】**

「次を買替えたいのはガソリン自動車」3割、昨年比 6.9 ポイント上昇

**【運転支援システムについて】**

もしも自動運転車が実現したら？「利用したい」72.1%

事故防止の運転支援システムに熱い視線  
今後車に付けたいのは「歩行者検知システム」と「衝突防止装置」

**【交通事故とヒヤリ・ハット】**

2人に1人の割合で「直近1年で交通事故のヒヤリ・ハットを経験」

**【自動車保険について】**

もしもあったら入りたい自動車保険  
1位「ガソリン代の割引サービスがある保険」、2位「安全運転だと割引される保険」

ソニー損害保険株式会社（URL：<http://www.sonysonpo.co.jp/> 本社：東京都大田区蒲田 5-37-1 アロマスクエア 11F、代表取締役社長 丹羽淳雄）は、2014年8月26日～8月29日の4日間、自家用車を所有し、月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女に対し、全国カーライフ実態調査をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効回答を得ました。

## アンケート総括

**【運転実態と車の維持費】**

- ◆ 年間走行距離 7,000km 以下の人が 6 割弱
- ◆ 4人に1人が「週末ドライバー（運転頻度は週に1～2回以下）」

- ◆ 1 ヶ月あたりの車の維持費 平均 15,800 円
- ◆ 車の維持費 最も負担に感じるのは「ガソリン代・燃料代」  
過去 4 年で 20.1 ポイント上昇
- ◆ 実施しているエコドライブ

「緩やかな発進」「加減速の少ない運転」「エンジンプレーキ利用」過半数が実施

自家用車を所有し、月に 1 回以上車を運転する 18 歳～59 歳の男女 1,000 名に対し、年間の走行距離を聞いたところ、「3,000km 以下」が 10.3%、「5,000km 以下」が 26.5%、「7,000km 以下」が 20.4%となり、年間走行距離が 7,000km 以下までの方が半数以上 (57.2%) を占め、年間走行距離の平均は 7,204km となりました。

男女別に年間走行距離の平均をみると、女性は 6,399km で、男性 (8,008km) よりも走行距離が短い傾向がみられました。(図 1)

また、どのくらいの頻度で車を運転するか聞いたところ、「毎日」が 58.5%、「週に 3～4 回」が 14.4%、『週に 1～2 回以下』（「週に 1～2 回」、「月に 2～3 回」、「月に 1 回」の合計）が 27.1%となりました。半数以上の方が自家用車を毎日運転している一方で、週末など、週に 1～2 回以下の頻度でしか運転する機会がないドライバーも 4 人に 1 人の割合でいるようです。(図 2)

次に、1 ヶ月あたりの車の維持費(※1)を聞いたところ、「5,000 円～10,000 円未満」(26.1%) と「10,000 円～15,000 円未満」(21.7%)を中心に回答が集まり、平均額は 15,800 円(※2)となりました。

主に運転している車のボディタイプ別に維持費の平均額をみると、軽自動車(平均 12,700 円)やコンパクトカー(平均 15,500 円)の維持費は低い傾向があり、一方 SUV・クロカン(平均 23,900 円)は高い傾向があります。(図 3)

(※1)：保険料、ガソリン代・燃料代、駐車場代、修理代等のことで、税金、ローン返済、有料道路通行料は除きます。

(※2)：100 円未満は四捨五入

続いて、車の諸経費で負担に感じるものを複数回答で聞いたところ、「ガソリン代・燃料代」が最も高く 70.1%、次いで「車検・点検費」が 67.8%、「自動車税・軽自動車税」が 62.1%で続きました。(図 4)

過去 4 回(2010 年～2013 年)の調査結果と比較すると、「ガソリン代・燃料代」を負担に感じる割合は年々増加しており、昨年(66.5%)から 3.6 ポイントの上昇、4 年前(50.0%)からは 20.1 ポイントの上昇となっています。また、昨年までは車の諸経費の中で最も負担に感じられていた「車検・点検費」は 4 年前(65.3%)から横ばいで推移しており、今年、「ガソリン代・燃料代」が「車検・点検費」を追い抜き、最も負担に感じられている費用となったことが特徴的です。(図 5)

次に、実施しているエコドライブの方法を複数回答で聞いたところ、「発進時に緩やかにアクセルを踏む」66.9%が最も高く、「加減速の少ない運転をする」55.8%、「早めにアクセルを離し、エンジンプレーキを使う」53.5%が 5 割台で続きました。男女別にみると、男性は「早めにアクセルを離し、エンジンプレーキを使う」59.0%や「タイヤの空気圧をこまめにチェックする」25.2%が女性より高く、女性は「交通の妨げになる路上駐車はしない」30.6%が男性よりも高くなりました。(図 6)

## 【現在のマイカー】

- ◆ 軽自動車の人気続く「マイカーは軽自動車」4 割、過去 4 年で 11.7 ポイント上昇

**◆ 女性の約半数が「軽自動車」、10代・20代女子では6割半**

全回答者1,000名に対し、主に運転している車のボディタイプを聞いたところ、「軽自動車」が最も高く40.0%、次いで、「コンパクトカー」が16.6%、「ミニバン」が14.6%、「ステーションワゴン」が12.1%、「セダン」が11.8%で続きました。特に女性の「軽自動車」を運転している割合は高く、女性では約半数(52.0%)、10代・20代女子では6割半(64.0%)となっています。(図7)

また、「軽自動車」を運転している割合を過去4回(2010年～2013年)の調査結果と比較すると、昨年(38.1%)からは1.9ポイントの上昇、4年前(28.3%)からは11.7ポイント上昇となっており、軽自動車人気がより高まっている様子がうかがえました。(図8)

次に、主に運転している車の燃料(エンジン)タイプを聞いたところ、「ガソリン自動車」が88.9%、「ハイブリッド自動車(HV)」が6.3%、「クリーンディーゼル自動車(CDV)」が1.1%、「電気自動車(EV)」が0.6%となりました。(図9)

**【マイカーの買替え意向】****◆ 4割半のドライバーが「今後5年以内に車を買替え予定」****◆ 「次を買替えたいのはガソリン自動車」3割、昨年比6.9ポイント上昇****◆ ガソリン車人気増の理由は？「ガソリン車でも十分燃費が良い」が30.3%****◆ 車を買替える際の予算 平均181万円****ガソリン車152万円、ハイブリッド車212万円、クリーンディーゼル車は234万円に**

全回答者1,000名に対し、今後車を買替える予定について聞いたところ、「半年以内」が4.0%、「1年以内」が5.8%、「2年以内」が9.6%、「3年以内」が11.5%、「5年以内」が14.5%となり、今後5年以内に買替える予定のある割合は合計で45.4%となりました。また、「買替えはせず、手放す予定」は3.1%となっています。(図10)

車を買替える予定がある方969名に対し、車を買替える際に「新車」と「中古車」のどちらでの購入を考えているかを聞いたところ、「新車」が55.9%、「中古車」が17.6%、「わからない」が26.4%となりました。(図11)

続いて、次に車を買替える際に購入したい燃料(エンジン)タイプを聞いたところ、「ハイブリッド自動車(HV)」が32.3%で、「ガソリン自動車」の29.9%を上回っています。ハイブリッド自動車以外の次世代自動車では、「クリーンディーゼル自動車(CDV)」が4.5%、「電気自動車(EV)」が3.9%、「プラグインハイブリッド自動車(PHV)」が2.6%、「燃料電池車(FCV)」が0.9%となっています。(図12)

また、「ガソリン自動車」に買替えを考えている割合を過去4回(2010年～2013年)の調査結果と比較すると、昨年までは2割から2割半の間で推移していましたが、今年は3割と、昨年比で6.9ポイントの上昇(2013年23.0%→2014年29.9%)となりました。(図13)

それでは、どのような理由から「ガソリン自動車」への買替えを考えている方が増えているのでしょうか。

「ガソリン自動車」への買替えを考えている方290名に、次を買替えるときに「ガソリン自動車」を選ぶ理由(ハイブリッド自動車や電気自動車を選ばない理由)を複数回答で聞いたところ、「本体価格が安いから」が57.9%で最も高く、次いで「欲しい車種がガソリン自動車しかないから」35.2%、「(ガソリン自動車でも)十分燃費が良いから」30.3%が3割台で続きました。取得コストの安さや選べる車種の豊富さのほか、エンジンを小型化し、燃費を向上させるダウンサイジングターボエンジンをはじめとする環境技術が進歩してきた

ことなどから、ガソリン自動車でも十分燃費が良いと考える方が増えているのかもしれない。(図 14)

また、『ガソリン自動車以外』への買替えを考えている方(435名)に、次に買替えるときに次世代自動車を選ぶ理由(ガソリン自動車を選ばない理由)を複数回答で聞いたところ、「燃費が良くなるから」が76.8%で最も高く、次いで「補助金や減税などが受けられるから」(50.1%)と「地球環境にやさしいから」(49.9%)が5割、「コスパが良いから(トータルでお得)」(45.3%)が4割半で続きました。(図 15)

続いて、車を買替える予定がある方969名に対し、車を買替える際の車体本体価格(※諸経費：自動車税、自動車取得税、自動車重量税などは除く)の予算を聞いたところ、最も多数の回答が集まったのは「100万円～150万円未満」で18.8%、次いで「150万円～200万円未満」が16.7%となり、「わからない」(15.1%)と回答した方を除いた平均予算額は181.4万円となりました。(図 16)

買替えを考えている車のタイプ別に平均予算額をみると、ガソリン自動車の購入を考えている層の平均予算152.0万円と比較して、ハイブリッド自動車の購入を考えている層は211.7万円、クリーンディーゼル自動車の購入を考えている層は233.8万円、電気自動車の購入を考えている層は188.2万円となり、いずれもガソリン自動車の購入を考えている層よりも予算が高くなりました。(図 17)

### 【運転支援システムについて】

◆ 「アイドリングストップ」搭載率 3年前から倍増 (8.1%⇒17.2%)

◆ 事故防止の運転支援システムに熱い視線

今後車に付けたいのは「歩行者検知システム」と「衝突防止装置」

◆ もしも自動運転車の実現したら？「利用したい」72.1%

◆ 自動運転車を利用したい理由「長距離運転がラクに」と「眠くなったとき便利」7割半

全回答者1,000名に対し、主に運転している車に搭載されている機器や機能について聞いたところ、「カーナビ」の搭載率(「搭載している」と回答した割合)は63.1%、「ETC」では56.4%、「アイドリングストップ」では17.1%、「ドライブレコーダー」では8.1%、「衝突防止装置」では5.6%となりました。(図 18)

アイドリングストップを「搭載している」割合を過去の調査結果と比較すると、3年前(8.1%)からは9.0ポイント上昇し、搭載率が倍増していることがわかりました。(図 19)

続いて、安全運転に役立つ先進的な“運転支援システム”について、車に付けたいと思うものを複数回答で聞いたところ、「夜間など視界が悪いときに、前方の歩行者を検知してお知らせする装置(歩行者検知システム)」(61.3%)と「前方の車と衝突しそうになったらブレーキが作動する装置(衝突防止装置)」(60.7%)が6割台、「車線変更するときに死角に車がいたらお知らせする装置」(47.8%)が4割台で続きました。歩行者や他車との事故を直接的に防止する運転支援システムに高いニーズがあるようです。(図 20)

次に、もしも自動運転車(自動で走行できる車)が実現したら、自動運転機能を利用したいと思うかを聞いたところ、「非常に利用したいと思う」が25.0%、「やや利用したいと思う」が47.1%で、合わせて72.1%の方が『利用したい』と回答しました。

さらに、もしも自動運転が“人が運転するよりも安全”だと証明されたら、利用したい気持ちはどの程度になるか聞いたところ、「非常に利用したいと思う」が41.2%、「やや利用したいと思う」が42.8%となり、『利用したい』と回答した方は84.0%となりました。自動

運転機能について、ドライバーの関心は高いようですが、将来、自動運転車の安全性が保証されるようなことになれば、利用意向は一段と高まるようです。（図 21）

続いて、自動運転が実現したら利用したいと回答した 721 名に対し、自動運転を利用したいと思う理由を複数回答で聞いたところ、「長距離運転がラクになりそうだから」（76.4%）と「眠くなったときや疲れたときに便利そうだから」（73.4%）が 7 割台、「知らない道でも迷わなくなりそうだから」（55.9%）と「渋滞時に便利そうだから」（52.1%）が 5 割台で上位回答となりました。疲れたときや道に迷ったときに代わりに運転してくれる役割を自動運転に期待している様子が見られました。

男女別にみると、女性は「狭い場所での駐車や車庫入れの時に便利そうだから」（44.4%）が男性よりも高い傾向が見られました。（図 22）

### 【交通事故とヒヤリ・ハット】

#### ◆ 「直近 1 年に事故経験あり」 9.8%

#### ◆ 「直近 1 年に自然災害で自家用車に被害」 2.5%、関東地方では 6.1%

#### ◆ 2 人に 1 人の割合で「直近 1 年で交通事故のヒヤリ・ハットを経験」

全回答者 1,000 名に対し、自分が運転している際に自動車事故に遭った経験があるか聞いたところ、「経験がある」が 66.4%となりました。また、この 1 年で事故の経験があるかについても聞いたところ、「経験がある」が 1 割（9.8%）となりました。（図 23）

同様に、ゲリラ豪雨や台風、ひょうなどの自然災害によって、自家用車に被害を受けた経験があるか聞いたところ、「経験がある」が 9.2%となりました。また、この 1 年で自然災害の被害を受けた経験があるかについても聞いたところ、「経験がある」が 2.5%となり、居住地別にみると、関東地方では 6.1%とほかの地域よりも高くなりました。（図 24）

ゲリラ豪雨のときは、特に鉄道や幹線道路と立体交差する道路など、路面の高さが低く冠水の危険が高い場所への進入は十分に注意し、また万一の車の水没時に備えて緊急脱出用具（非常用ハンマーなど）を用意しておくことも大事です。

※自然災害による被害が自動車保険で補償されるのかどうかや、保険を使った場合に等級がどうなるかは、下記 URL にてご案内しています。

・自動車保険の自然災害ガイド

<http://www.sonysonpo.co.jp/auto/guide/agde070.html>

次に、車を運転していて、実際に事故にはならなかったものの、場合によっては事故に直結したかもしれない事象＝“ヒヤリ・ハット”について複数回答で聞いたところ、「雨天や路面凍結によるスリップ事故」が最も高く 40.3%となりました。次いで「居眠り運転による事故」（37.0%）と「わき見運転による事故」（35.3%）が 3 割台で続きました。また、いずれかのヒヤリ・ハット経験がある割合は 84.0%となっています。（図 25）

続いて、この 1 年間でのヒヤリ・ハットの経験を聞いたところ、いずれかのヒヤリ・ハット経験がある割合は 49.2%で、実に 2 人に 1 人の割合となりました。ヒヤリ・ハットの内容をみると、「わき見運転による事故」15.0%、「居眠り運転による事故」14.2%、「判断の遅れによる事故」11.7%など、注意が散漫になったり、判断力が低下していたりする状態で運転していたことを要因とするヒヤリ・ハット経験が上位となっています。重大事故発生の背後には多数のヒヤリ・ハットが潜んでいるといわれており、疲れているときや体調のすぐれないときには、運転を控えるか体調を整えてから運転するなど、実際の事故につながらないように予防策を心がけましょう。

男女別、年代別にみると、男性は「居眠り運転による事故」(19.4%)が、10代・20代では「判断の遅れによる事故」(19.2%)が高い傾向がみられました。(図26)

### 【自動車保険について】

◆ 自動車保険の新等級制度(ノンフリート等級制度)「内容を知っている」は20.8%

◆ もしもあつたら入りたい自動車保険

1位「ガソリン代の割引サービスがある保険」、2位「安全運転だと割引される保険」

2013年の秋頃から、新しい自動車保険の等級制度(割引・割増制度)が適用されるようになりました。具体的には、事故を起こして保険金を受け取ると、翌年から保険料が無事故の人に比べ割高になるという制度ですが、この制度はどの程度認知されているのでしょうか。

全回答者1,000名に対し、新しい等級制度(ノンフリート等級制度)について、知っているか聞いたところ、「内容を知っている」は20.8%、「聞いたことがある程度」は37.2%となりました。新しい等級制度が適用される以前の2012年の調査では、「内容を知っている」は10.4%で、今年の調査では20.8%と倍増していますが、いまだ制度内容が十分に理解されているとは言えないことがわかりました。(図27)

※「新等級制度(ノンフリート等級)」の仕組みは、下記URLにてご案内しています。

・等級制度ガイド(ソニー損保のウェブサイト)

<http://www.sonysonpo.co.jp/auto/guide/agde020.html>

次に、もしもあつたら入りたいと思うのはどんな自動車保険か、自由回答で意見を募ったところ、割引に関する意見が複数みられ、中でも「無事故者のさらなる優遇」や「運転技能による割引」などを求める声が目立ちました。(図28)

さらに、もしもあつたら入りたいと思う自動車保険について選択肢を提示し、複数回答で聞いたところ、「ガソリン代の割引サービスがある保険」(62.8%)と「安全運転診断を行い、優良だと診断されると保険料が割引になる保険」(61.2%)が6割台で上位回答となり、「エコドライブ(燃費が良い運転)をすると保険料が割引になる保険」が43.7%で続きました。(図29)

※過去4回の調査結果の詳細は、下記URLにて公開しています。

・2010年 全国カーライフ実態調査

前編 [http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2010/10/20101028\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2010/10/20101028_1.html)

後編 [http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2010/11/20101125\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2010/11/20101125_1.html)

・2011年 全国カーライフ実態調査

前編 [http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2011/11/20111121\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2011/11/20111121_1.html)

後編 [http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2011/11/20111124\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2011/11/20111124_1.html)

・2012年 全国カーライフ実態調査

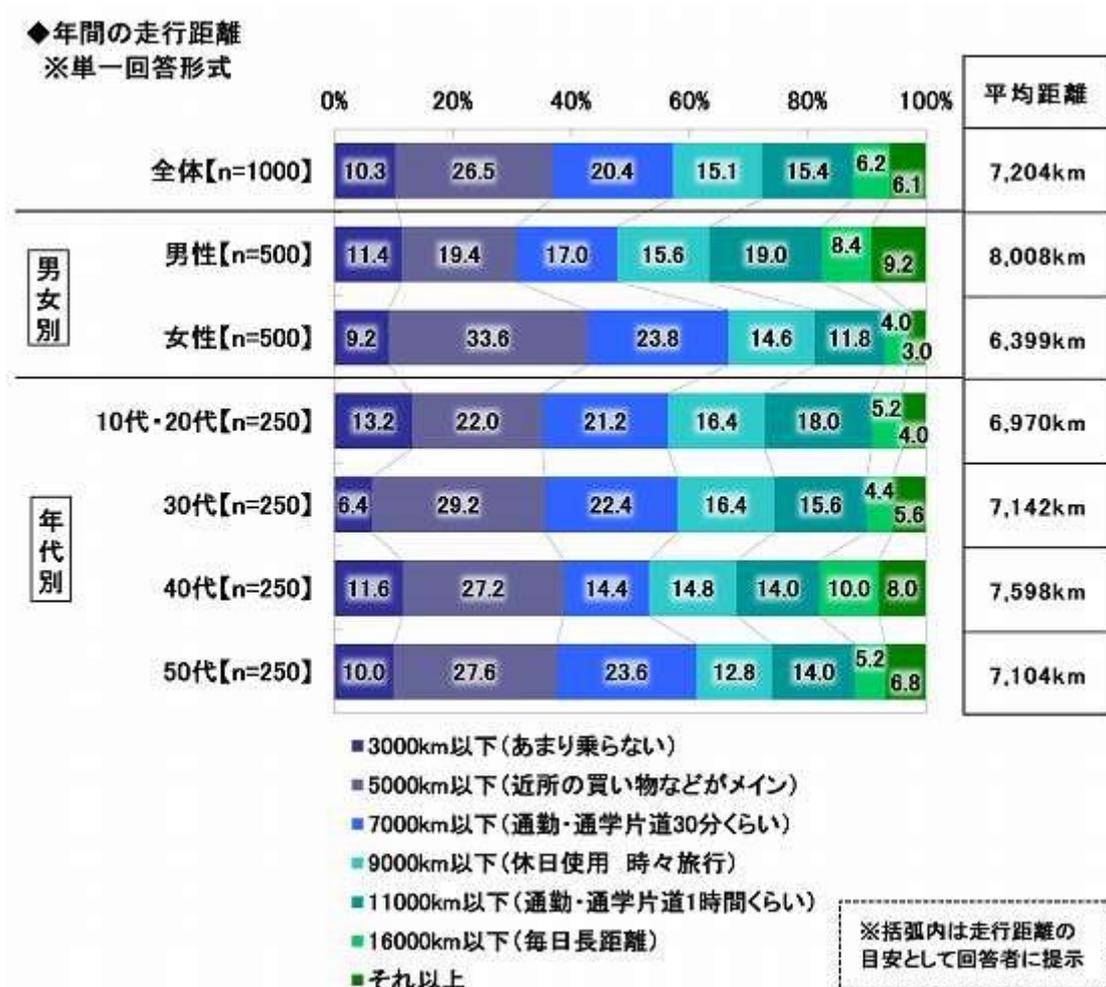
前編 [http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2012/11/20121126\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2012/11/20121126_1.html)

後編 [http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2012/12/20121220\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2012/12/20121220_1.html)

・2013年 全国カーライフ実態調査

[http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2013/11/20131125\\_01.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2013/11/20131125_01.html)

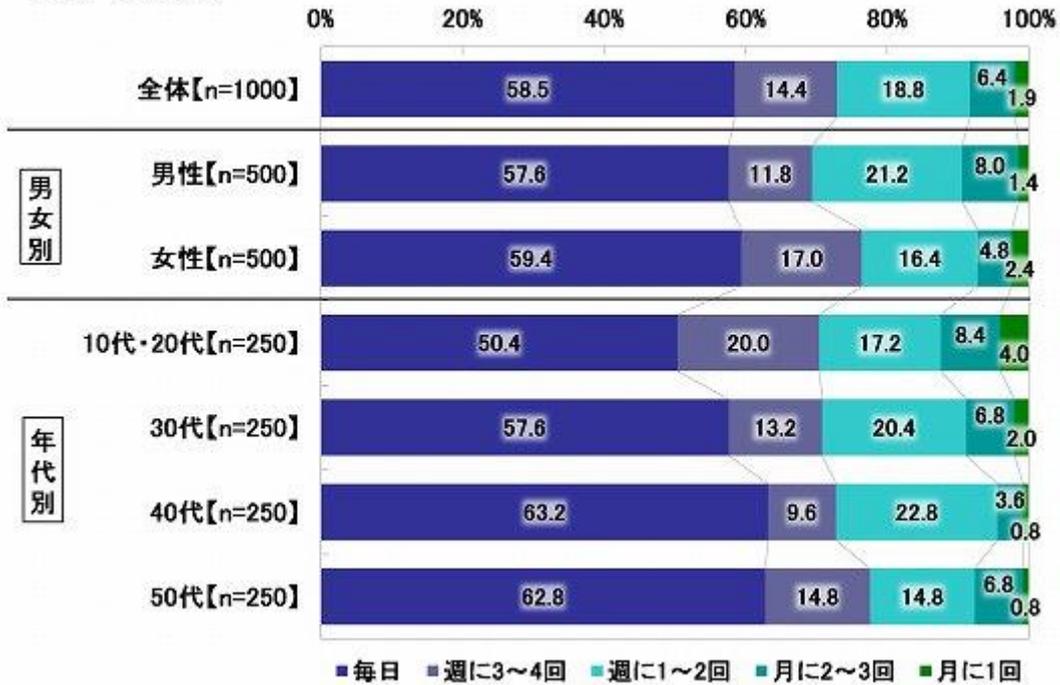
(図 1)



(図 2)

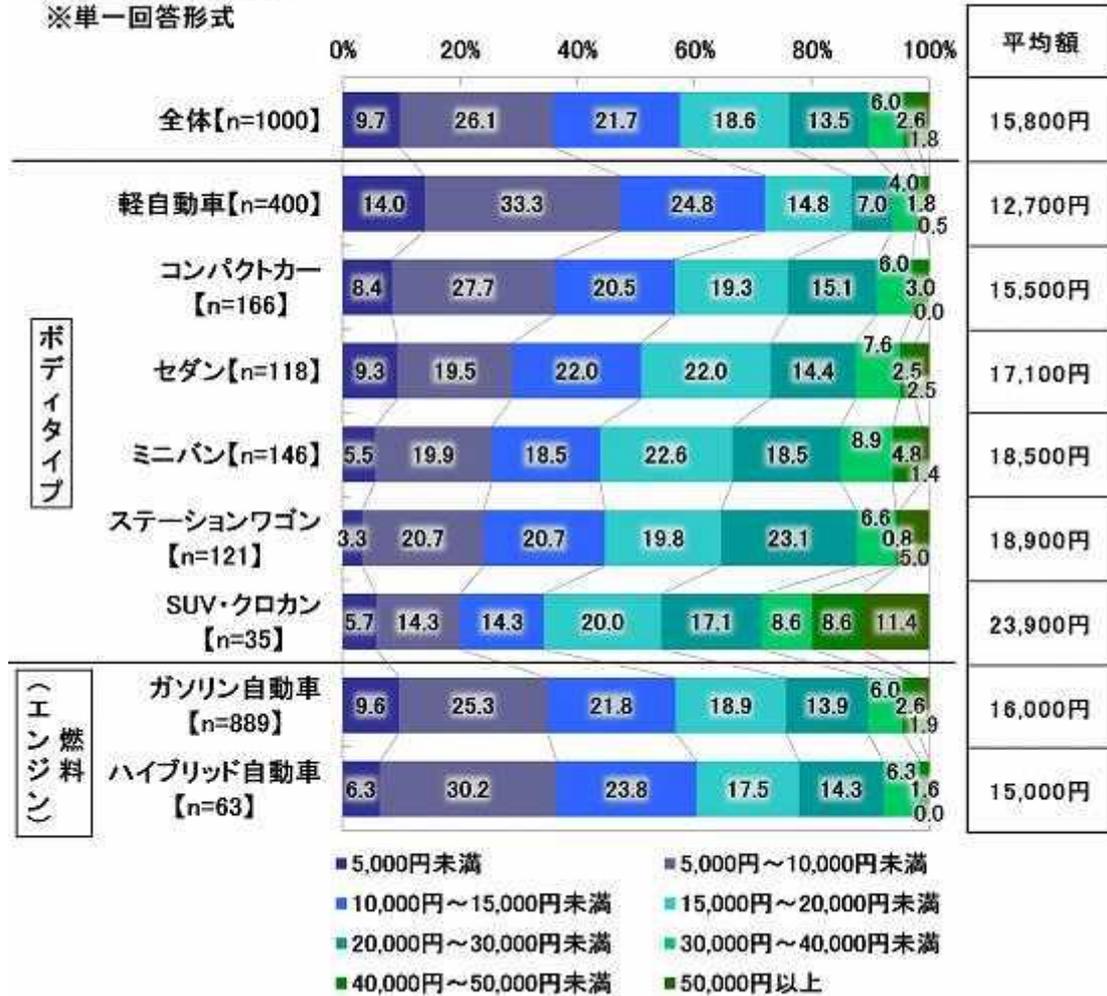
◆ 運転頻度

※単一回答形式



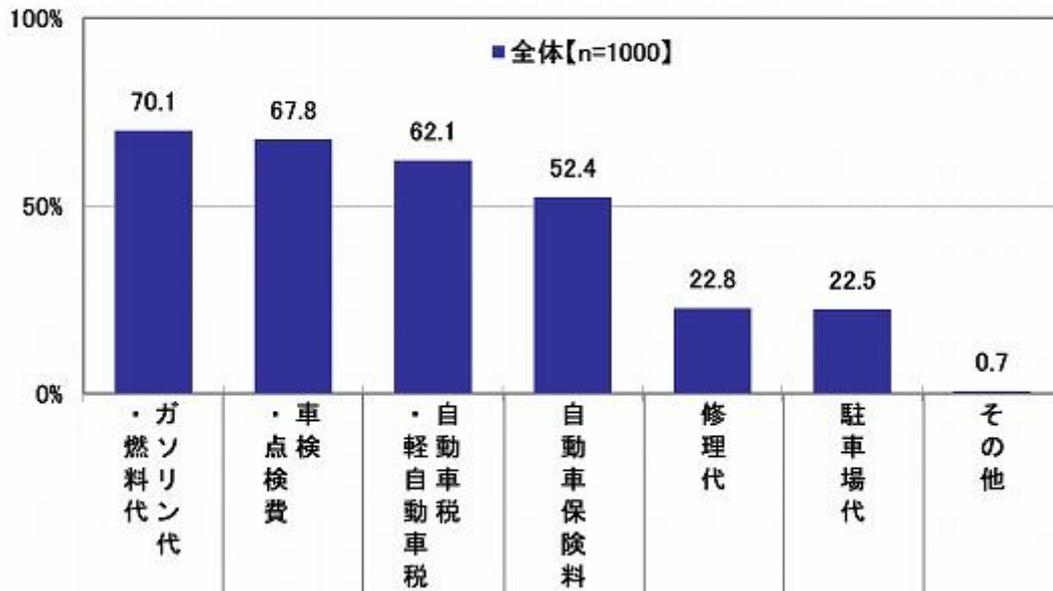
(図 3)

◆1か月あたりの維持費  
※単一回答形式



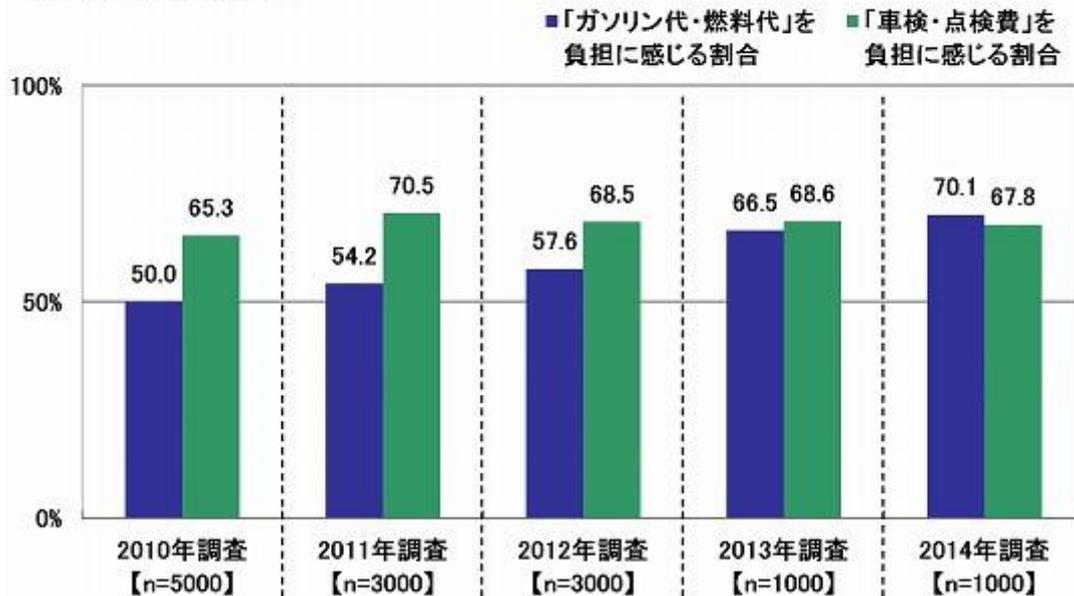
(図 4)

◆車の諸経費で負担に感じるもの  
※複数回答形式



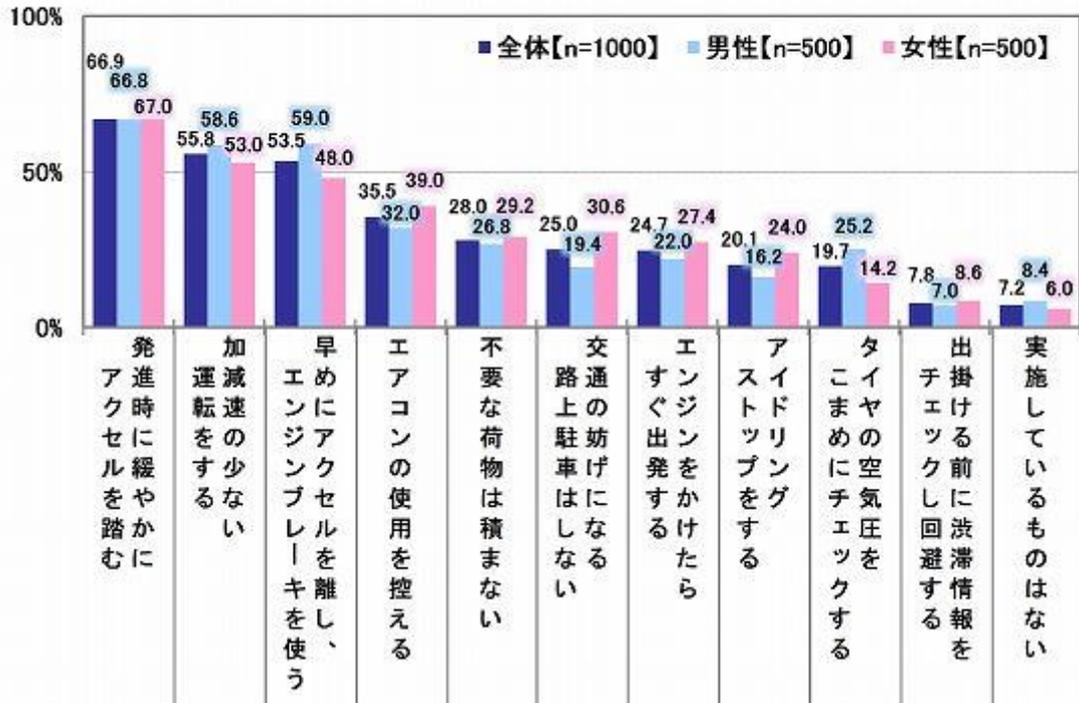
(図 5)

◆車の諸経費で「ガソリン代・燃料代」「車検・点検費」を負担に感じる割合  
【2010年～2014年:経年比較】  
※複数回答形式より抜粋

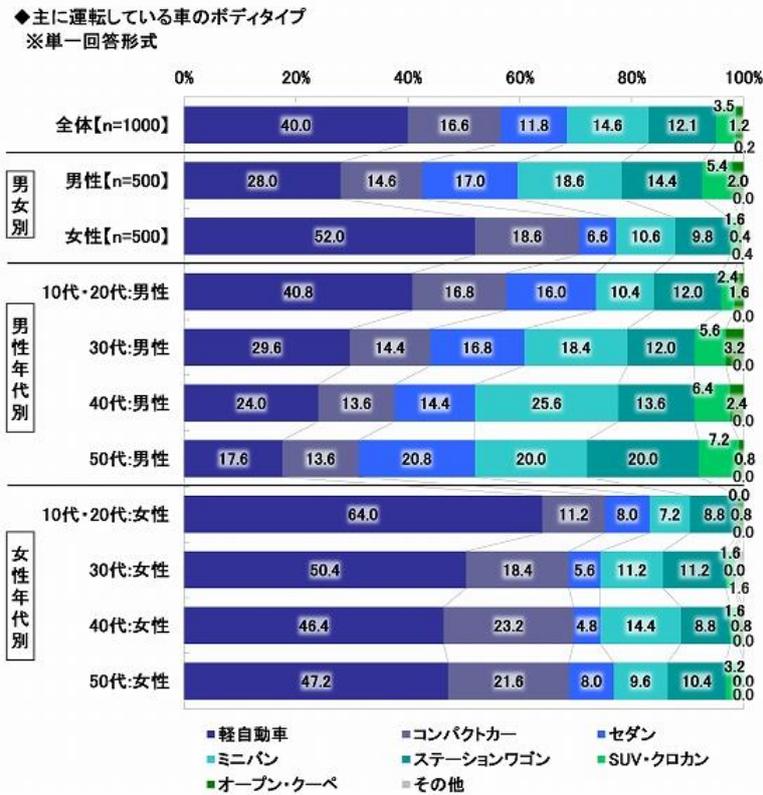


(図 6)

◆実施しているエコドライブ  
※複数回答形式



(図 7)



(図 8)

◆主に運転している車が「軽自動車」である割合

【2010年～2014年：経年比較】

※単一回答形式より抜粋

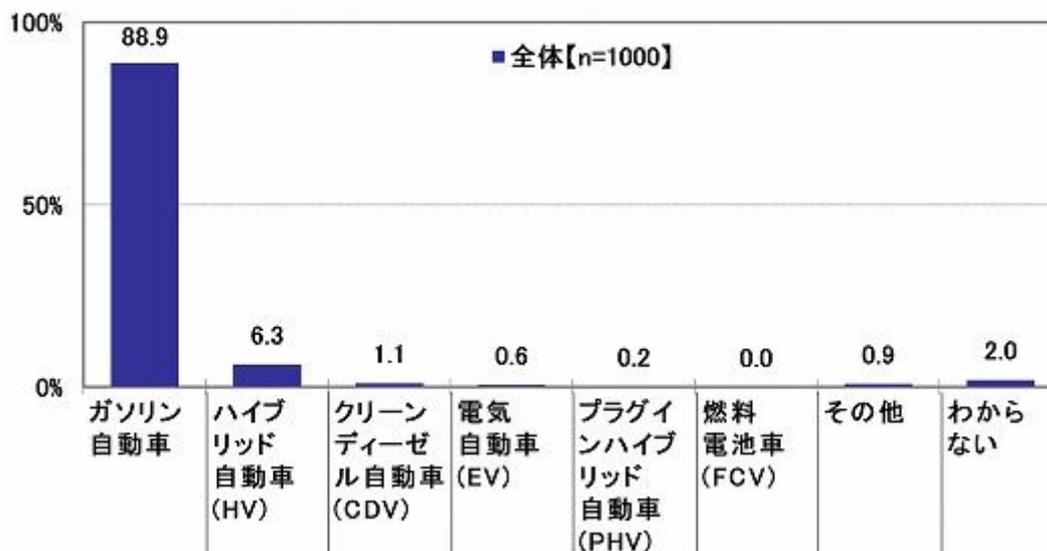


※n数は各性年代で均等

(%)

(図 9)

◆主に運転している車の燃料(エンジン)タイプ  
 ※単一回答形式



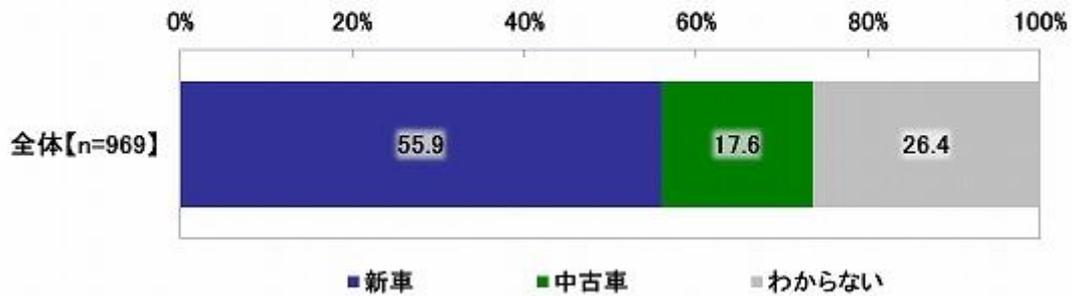
(図 10)

◆買替え予定の時期  
※単一回答形式



(図 11)

◆次に車を買替える時に、「新車」と「中古車」どちらで購入したいか  
※単一回答形式  
※対象:車を買替える予定がある人

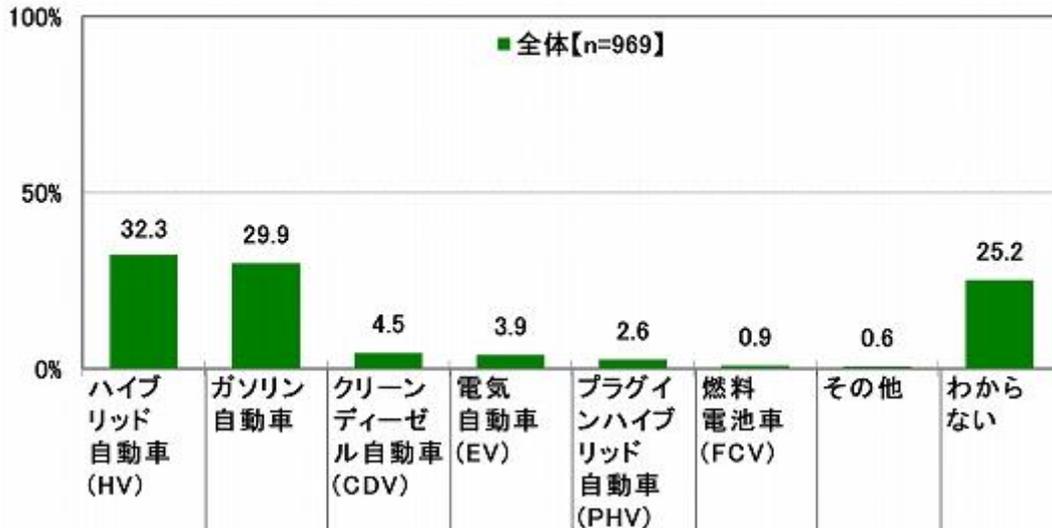


(図 12)

◆次に車を買替える時に購入したい車の燃料(エンジン)タイプ

※単一回答形式

※対象:車を買替える予定がある人



(図 13)

◆次に車を買替える時に「ガソリン自動車」を購入したい割合

【2010年～2014年:経年比較】

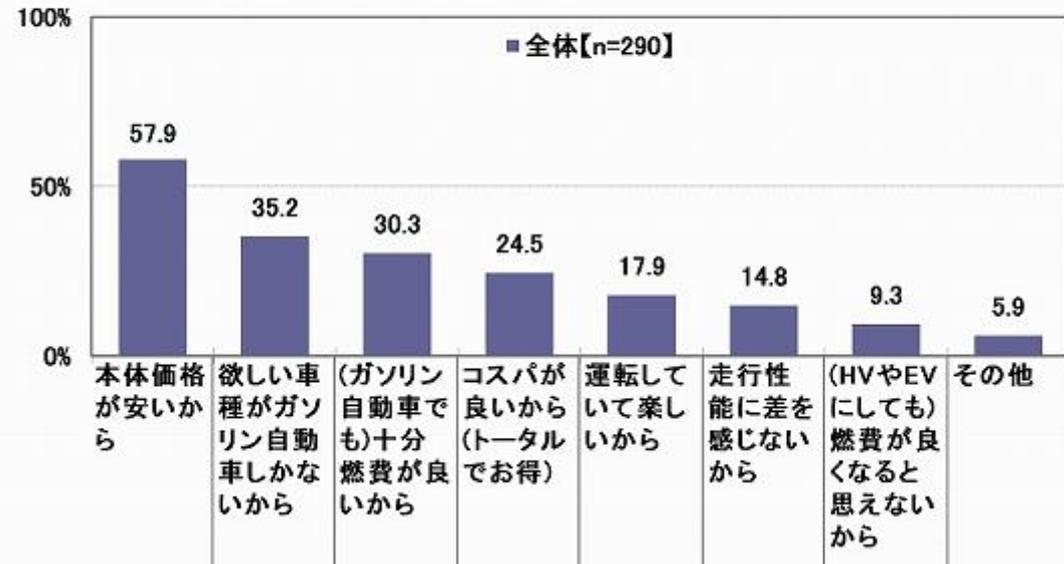
※単一回答形式より抜粋

※対象:車を買替える予定がある人



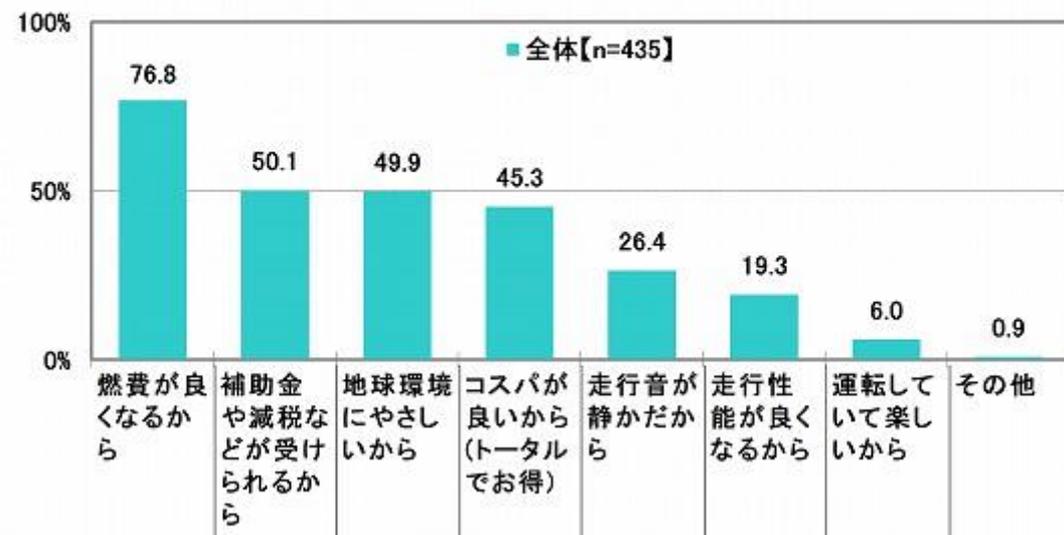
(図 14)

◆次に買替えるときにガソリン自動車を選ぶ理由  
 (ハイブリッド自動車や電気自動車を選ばない理由) ※複数回答形式  
 ※対象:ガソリン自動車への買替えを考えている人



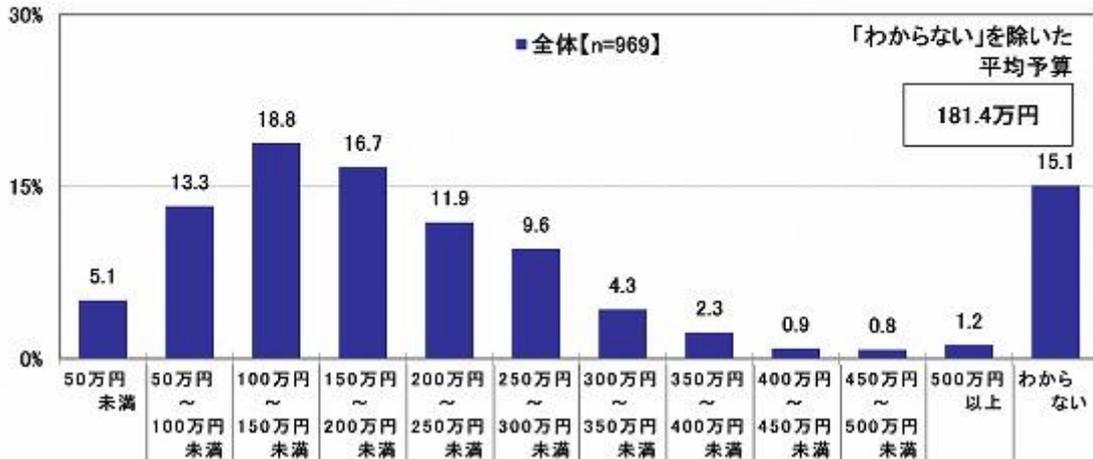
(図 15)

◆次に買替えるときに次世代自動車を選ぶ理由  
 (ガソリン自動車を選ばない理由) ※複数回答形式  
 ※対象:ガソリン自動車以外への買替えを考えている人



(図 16)

◆次に車を買替える時の車体本体価格の予算  
 [諸経費(自動車税、自動車取得税、自動車重量税など)は除く]  
 ※単一回答形式  
 ※対象: 車を買替える予定がある人



(図 17)

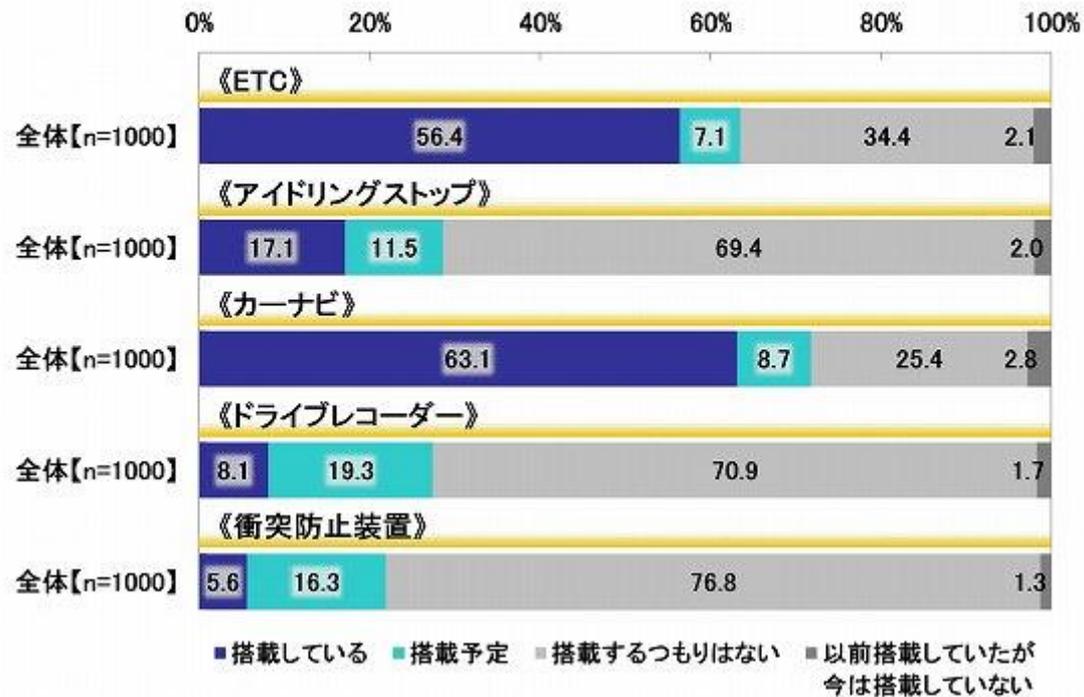
◆次に車を買替える時の車体本体価格の平均予算  
 [諸経費(自動車税、自動車取得税、自動車重量税など)は除く]  
 ※単一回答形式より集計  
 ※対象: 車を買替える予定があり、予算がわからない人を除く



※n数が少ない購入パターンは記載省略

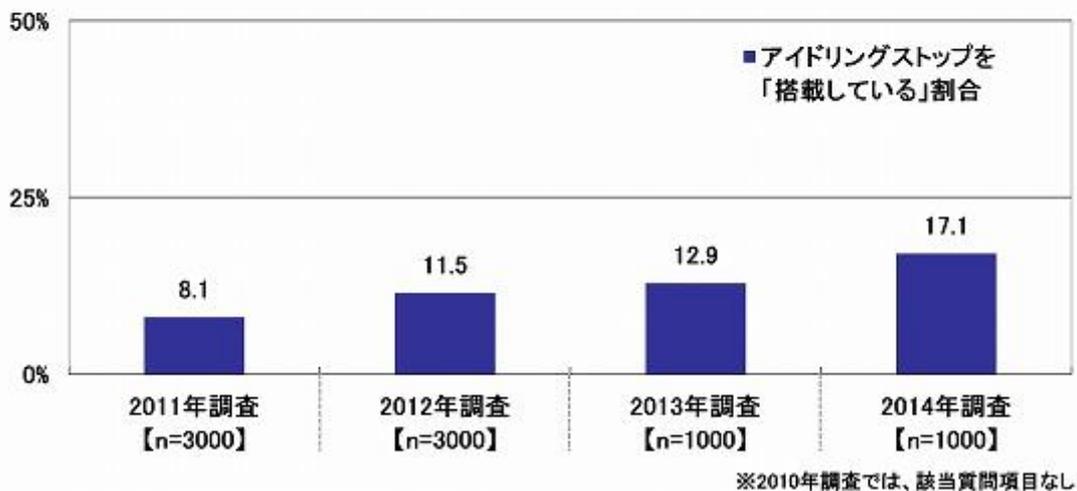
(図 18)

◆主に運転している車に搭載している機器・機能  
※項目毎に単一回答形式



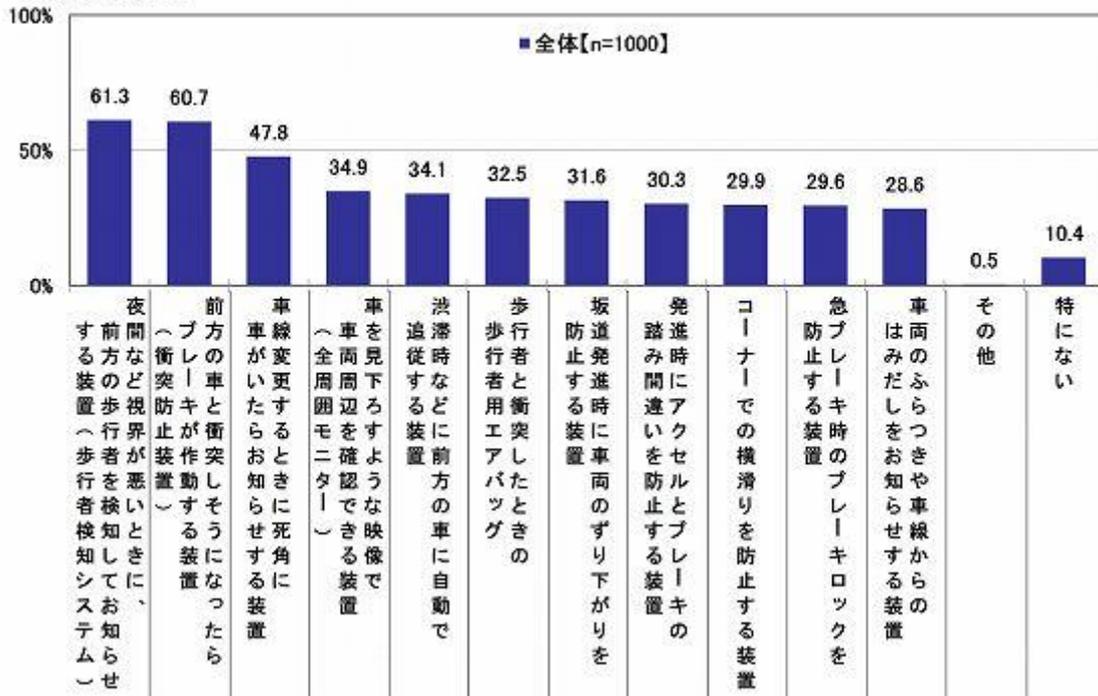
(図 19)

◆主に運転している車にアイドリングストップを「搭載している」割合  
【2011年～2014年：経年比較】  
※単一回答形式より抜粋

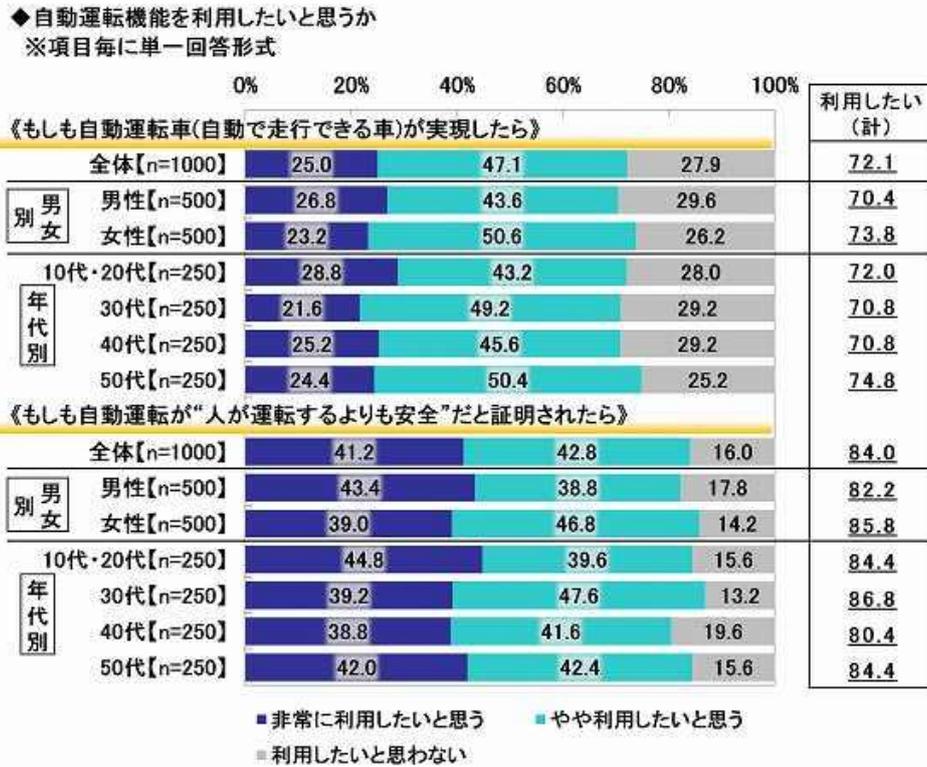


(図 20)

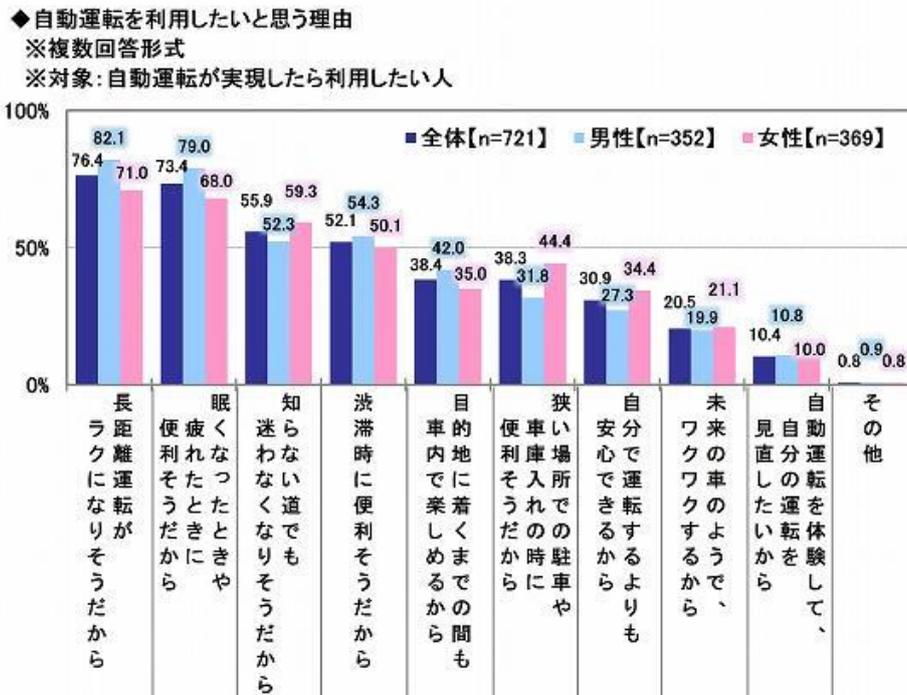
◆車に付けたいと思う運転支援システム  
※複数回答形式



(図 21)

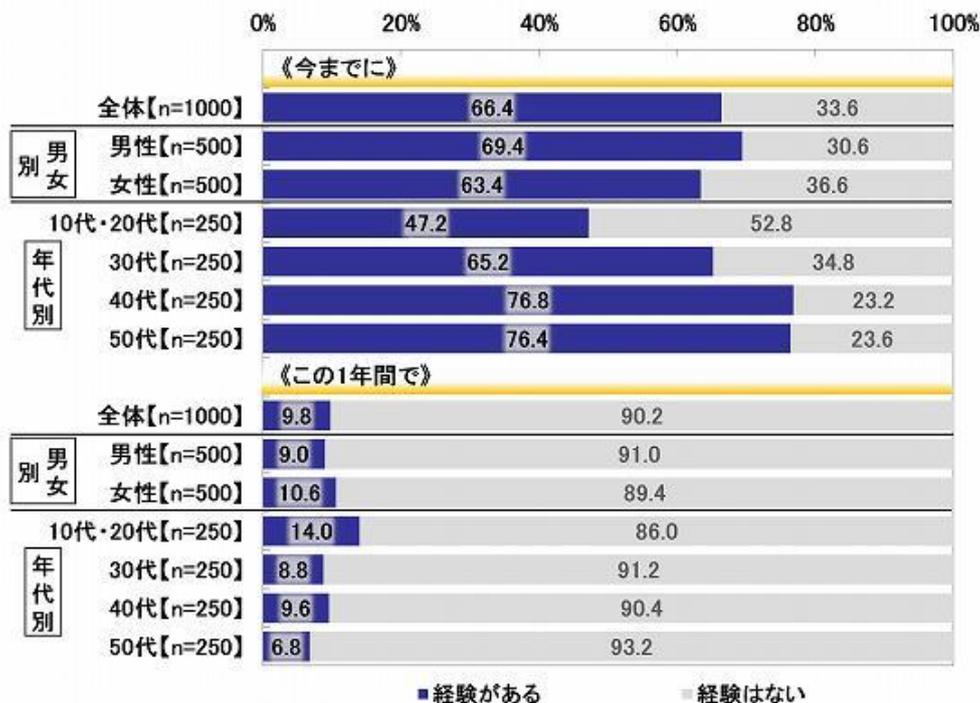


(図 22)



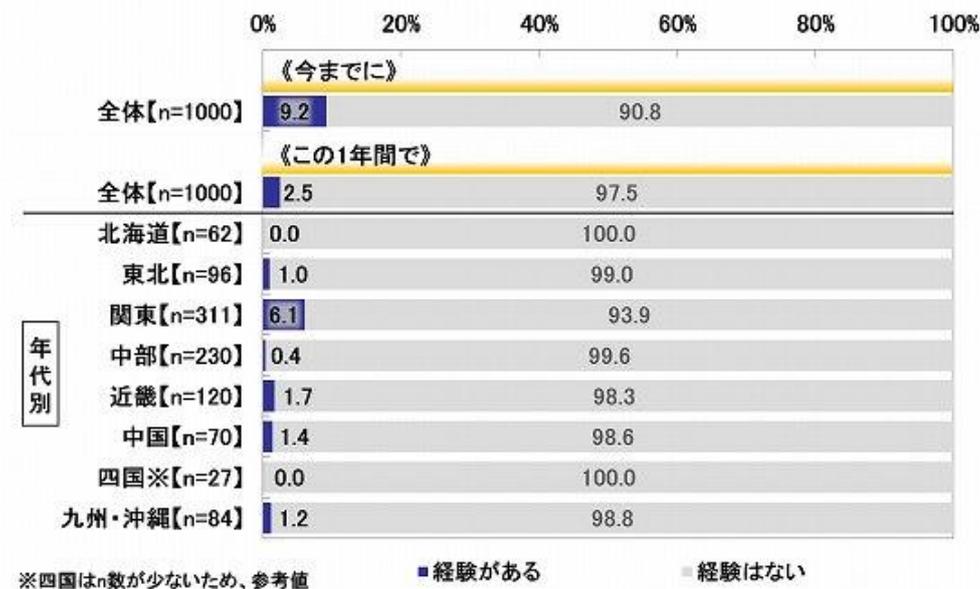
(図 23)

◆自分が運転をしている際に自動車事故に遭った経験  
※項目毎に単一回答形式



(図 24)

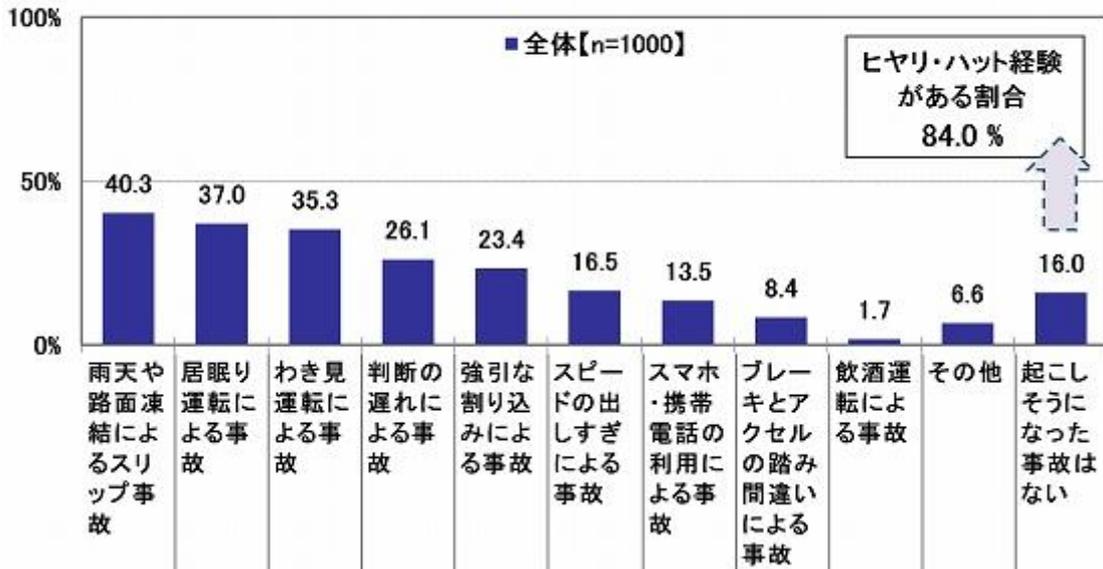
◆ゲリラ豪雨や台風、ひょうなどの自然災害によって、自家用車に被害を受けた経験  
※項目毎に単一回答形式



(図 25)

◆危うく起こしそうになった事故

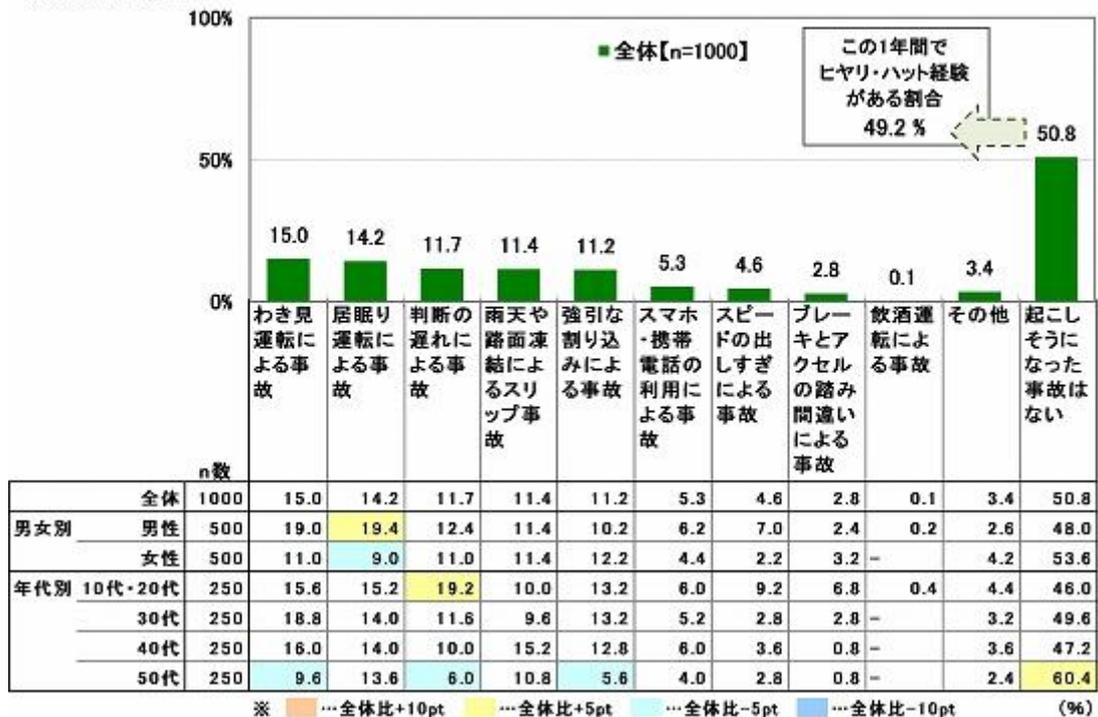
※複数回答形式



(図 26)

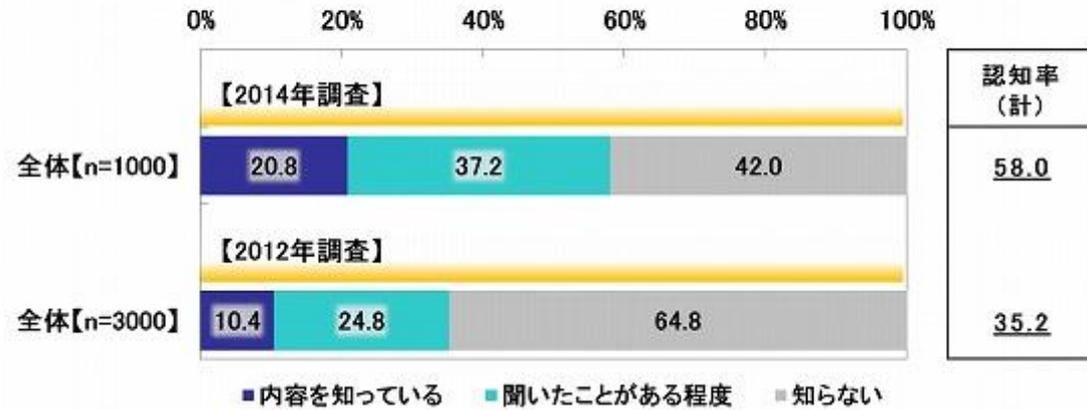
◆この1年で、危うく起こしそうになった事故

※複数回答形式



(図 27)

◆自動車保険の新等級制度(ノンフリート等級制度)を知っているか  
 【2012年・2014年:経年比較】  
 ※単一回答形式



(図 28)

◆もしもあつたら入りたいと思うのはどんな自動車保険か  
※自由回答形式より抜粋

**【割引に関する意見】**

**「無事故者のさらなる優遇」**

- ・無事故なら保険料が戻ってくるシステム。(50代、男性)
- ・事故のない安全運転者には20等級よりさらに上の等級があればいい。(40代、女性)
- ・保険の等級の拡大で21等級以上も新設。(30代、女性)

**「運転技能による割引」**

- ・ゴールド免許でなくても安全運転できている人の保険料が安くなる制度。(20代、男性)
- ・実際の運転技術による割引。(30代、男性)
- ・実際の運転によって割安になる保険。車に装置を取り付けて急ハンドルや急ブレーキ、速度超過で割増したり、走らなかった月は保険料が返ってくるもの。(30代、男性)

**【補償内容に関する意見】**

**「運転者にかかる保険」**

- ・運転する人にかかる保険 車三台、バイク五台あるため。(40代、男性)
- ・車じゃなく運転者でかける保険。車もバイクも一つですむもの。(30代、男性)

**「車の修理代に対する補償」**

- ・車の軽い凹みやキズなどを一定金額で何度でも修理できるような保険。(20代、女性)

**「自然災害に対する補償」**

- ・津波、ゲリラ豪雨、地震でも補償してくれる保険。(30代、女性)
- ・災害で車が破損した時の補償が充実。(50代、女性)

**【アフターサービス・特典に関する意見】**

**「アフターサービス」**

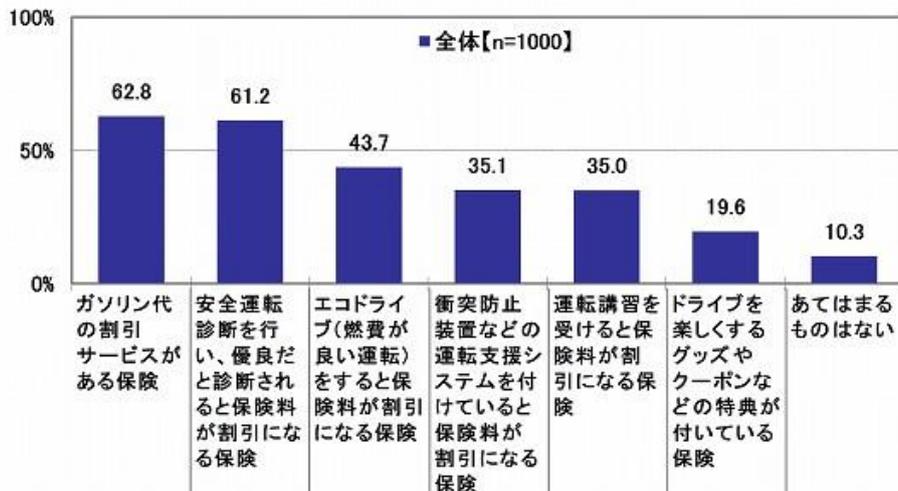
- ・とにかく、手厚い対応をしてくれる保険(事故あとのアフターフォローがある保険)。(20代、男性)
- ・安くて安心な保険 いざという時対応が早く丁寧な保険。(20代、女性)

**「特典」**

- ・ガソリンの値引きなどの特典。(20代、男性)
- ・ドライブレコーダーを、無償貸与してくれる保険。(40代、女性)

(図 29)

◆もしもあつたら入りたいと思う自動車保険  
※複数回答形式



## ◆調査概要◆

- ◆調査タイトル：2014年 全国カーライフ実態調査
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
自家用車を所有し、月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女  
(18歳～20代・30代・40代・50代 男女各125名)
- ◆調査期間：2014年8月26日～8月29日
- ◆調査方法：インターネット調査
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答から1,000サンプルを抽出）
- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社

調査協力会社： ネットエイジア株式会社

## ■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「ソニー損保調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

## ■■本調査に関するお問合せ窓口■■

ソニー損害保険株式会社 ダイレクトマーケティング部 松田 安弥美  
TEL : 03-5744-8755  
Eメール : matsuda-a@sonysonpo.co.jp  
受付時間 : 9時～17時30分(月～金)

## ■■会社概要■■

会社名 : ソニー損害保険株式会社  
代表者名 : 代表取締役社長 丹羽淳雄  
設立 : 1998年6月10日  
(ソニーインシュアランスプランニング株式会社として設立)  
所在地 : 東京都大田区蒲田 5-37-1 アロマスクエア 11F  
業務内容 : 損害保険業

ソニー損保のスローガンは『“Feel the Difference”～この違いが、保険を変えていく。～』です。  
お客様にとって価値ある「違い＝Difference」をビジネスのあらゆる領域において創造し、お客様に提供  
していこうという私たちの意思を表しています。

また、お客様にとって少しでも価値ある情報を提供できるよう、「[お客様とソニー損保のコミュニケーションサイト](#)」を設置して、[お客様の評価\(みんなの満足度\)](#)や[お客様の声\(コエキク質問箱\)](#)、[担当者の取組み\(コエキク改善レポート\)](#)、[保険に関するさまざまな情報\(保険なるほど知恵袋\)](#)を提供しています。  
ソニー損保ならではの違いを感じていただければ幸いです。

会社および商品の詳細は <http://www.sonysonpo.co.jp/> をご覧ください。